

令和7年度
日野市中央公民館の
運営の状況に関する評価書
(令和6年度事業)

市民の暮らしに寄り添いながら
市民のつながりの中に“学び”を生み出す

令和7年9月
日野市中央公民館

目 次

1. はじめに	1
2. 評価の目的	1
3. 公民館の現状	1
(1) 施設	1
(2) 貸室利用状況（令和6年度）	1
(3) 組織・職員	2
(4) 主な業務	2
4. 評価の実施方法	2
5. 評価の対象	2
6. 評価の結果	3
公民館運営審議会の総評	3
公民館の自己評価	4
7. 評価表	6

資料

I 公民館事業	1 2
II 日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱	2 3
III 公民館運営審議会委員名簿（第30期）	2 4

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「社会教育法」が改正され、運営の状況に関する評価等として、「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。また、これに先駆けて平成 15 年には、公民館の設置及び運営に関する基準において「公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。」とされてきたところです。

これらを受け、公民館では平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から公民館の運営状況に関する評価を実施することにしました。

2 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深めるとともに、連携及び協力の推進に資するため、そして、効果的で市民・利用者に信頼される公民館事業を推進することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めます。

3 公民館の現状

(1) 施設

名 称	延べ床面積	開 館 日	所 在 地
中央公民館	704 m ²	昭和 41.7.1	日野本町 7-5-23
中央公民館高幡台分室	953 m ²	平成 16.4.21	程久保 550 教育センター内

(2) 貸室利用状況（令和 6 年度）

名 称	部屋の名称	年間利用者数
中央公民館	実習室、ホール、視聴覚室、小会議室、講座室 A・B、調理実習室、保育室	30,616 人
中央公民館高幡台分室	講座室 1~6、実習室、和室 ※講座室 6 は、令和 4 年 11 月 1 日より貸出しを中止（保護司会に明渡し）	16,711 人

(3) 組織・職員 ※令和7年3月31日現在

2 係（管理係・事業係）

正規職員 6 人

再任用職員 3 人

任期付短時間勤務職員 1 人

会計年度任用職員 2 人

コミュニティワーカー 1 人

(4) 主な業務

- ・公民館運営全般
- ・公民館活動（成人・高齢者・青少年対象の講座等）の企画運営
- ・公民館関係資料の収集、保存及び作成
- ・公民館施設の貸し出し管理等

4 評価の実施方法

評価を行うにあたっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機関である第30期公民館運営審議会委員の意見を伺いながら行いました。本評価は施策評価であるため、事業別の評価資料を作成した上で、それに基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、評価を総括しました。

5 評価の対象

評価の対象は、「令和6年度中央公民館基本方針」にある基本目標として3項目、及び重点施策3項目を対象としました。

(1) 基本方針

第2次日野市公民館基本構想・基本計画～市民の暮らしに寄り添いながら市民のつながりの中に「学び」を生み出す～目指す姿とし、基本計画に基づいて事業を展開する。公民館が市民にとって自由で民主的な学びの場として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

(2) 基本目標と施策

① ～市民の日常生活に寄り添って～

豊かな暮らしをつくる「学び」を生み出す

- ・市民の暮らしに寄り添った学びの循環づくり
- ・「学び、学びあい」による生きがいづくり

② ～誰一人取り残さずに～

「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ

- ・地域をステージに、自ら考え、ともに行動する学びを実現する

- ・地域の社会的資源を生かし、学びを通して暮らしの課題解決を支援する
- ・暮らしと地域に結びついた安全安心な社会をつくる

③ ～まちの未来に向かって～

世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す

- ・子どもから大人まで切れ目のない学びを創造する
- ・平和な暮らしと社会を支える意識を育み、未来につなぐ
- ・さまざまな地域資源や学習の機会・場の情報共有を充実させる
- ・まちの自然・歴史・文化に親しみ、多世代間で知恵を交流する

(3) 重点事業

- ① コロナ禍により断たれた人と人との「つながり」の結び直し
- ② 地域の団体や組織との連携を通じた公民館の機能の向上
- ③ 地域資源の発見・共有による学びあいの充実

6 評価の結果

《公民館運営審議会からの総評》

本事業評価では評価のための評価に陥ることなく、改善や発展のための評価となるよう、公民館職員による各講座等の事業報告書を基本に、公民館運営審議会との協議を経て改善策が示されている。評価のプロセスでは、公民館職員と公民館運営審議会委員が、市民や利用者の暮らしと学びに向き合うことを大切にしてきた。

- ① 令和6年度は公民館と生涯学習課との組織統合の準備や、高幡台分室受付管理の業務委託化など、公民館を取り巻く行政側の大きな動きがあった。その中で、市民の自由で主体的な学びを保障する公民館のあり方が再確認された。令和7年度以降の生涯学習支援分野に関わる事業の縮小や職員の減少などについて今後の動向を慎重に見守る必要がある。それぞれが本来持っていた領域や役割を確かめつつ、地域の団体、組織との有機的なつながりの基盤を構築してほしい。また市民や利用者への目配りを大切に、「全ての人に参加でき、学びをとおして多様な人と人をつなぐことができる公民館」を大切にしていきたい。
- ② コロナ禍以前は9万人以上の市民が公民館施設を利用していたが、主催事業への参加状況を鑑みると、コロナ禍を経て75%まで回復した。市民同士のつながりづくり、子どもの居場所づくりや、若者世代のための事業を一層推進することが重要であり、公民館を知ってもらう機会を創出し、彼ら彼女たちが「公民館に行ってみよう。」と思えるような、つながりへの種を蒔いていくことも必要ではないかと思われる。
- ③ 各担当者が作成する事業報告書からは、施策や項目を達成するための取り組みへの思いが伝わり、自己評価を通したふり返りが行われていることが読み取れた。継続事業についても改善点と対応策が経過として記載されている。今後は「学びの循環」をどう捉えるか、講座からサークル化への展開をどう図るか、学んだことを生活に活かしていくことができるような内容とは何か、共に学ぶ

仲間をひろげていくための企画づくりへの参加をどう開くかなど、「学びの循環」をグランドデザインしていくためには、事業単独ではなく事業同士の関連も見渡した展望や視野を持つことに期待したい。

《公民館の自己評価》

1 公民館を取り巻く状況

令和6年度の中央公民館の利用状況はコロナ禍を経て持ち直してきている。さらに公民館を取り巻くハード面（施設や事務事業の見直し）、ソフト面（人と人がゆるやかにつながる）の課題解決に向けて取り組んできたところである。以下に、各課題と達成度について述べる。

（1）公民館利用者の推移を以下の表に示した。特にコロナ禍により分断された市民のつながりの結び直しに力点を置き、つながりが途絶え疎外感をもつ市民に寄り添いながらも、次世代を支える学びの種も蒔いた。

年度	本館 (延べ人数)	分室 (延べ人数)	事業参加者数 (延べ人数)	利用者計 (延べ人数)	前年度 比較
H30	41,251	28,477	22,875	92,603	
R1	37,924	26,033	21,327	85,284	92.1%
R2	13,445	11,259	6,353	31,057	36.4%
R3	16,626	14,143	8,153	38,922	125.3%
R4	23,004	16,478	8,761	48,243	123.9%
R5	30,626	16,711	18,271	65,608	136.1%
R6	33,803	17,609	18,358	69,770	106.3%

（2）令和6年度の事業実施状況

令和6年度中央公民館事業は、基本目標3項目及び重点施策3項目を踏まえ、事業数としては78事業を展開した。公民館主催事業の参加人数は延べ18,358人、中央公民館施設利用者数延べ33,803人、高幡台分室施設利用者延べ17,609人となり、年間で延べ69,770人が公民館事業に関わったという結果となった。106.3%の実績数値であり、延べ人数としては市人口の約1/3に達した。

（3）令和6年度に生涯学習課から事務移管された業務

①令和6年度からの事業移管について

（ア）保育協力員派遣事業

市各課が開催する事業の一時預かり保育の受付と手配

（イ）生涯学習支援システムポータルサイト「Hi know!」

生涯学習支援の一環として市内のあらゆる学びを紹介するサイト

（ウ）障害者訪問学級（委託事業）

障害等により、屋外での学びに不安を持たれる方への学びの支援

- (エ) 家庭教育学級
市内各小中学校 PTA 等の保護者等による地域の学び合い事業
 - (オ) ひの 21 世紀みらい塾
あらゆる知識、技能を持つ市民を登録講師として紹介する事業
 - (カ) サークル団体・施設ガイド
市内のサークル等や、公共施設等を紹介する冊子作成事業
- (4) 令和 6 年度は、公民館に関連するハード、ソフト両面において令和 7 年度以降への準備期間の年となった。
- ① 教育委員会生涯学習課との組織の統合
令和 3 年度から両組織の統合検討を進めていた。
 - ② 高幡台分室職員の業務委託化に伴う中央館への引揚げ
令和 3 年度日野市財政再建方針・第 6 次行財政改革大綱を策定し、「財政のあるべき姿」として公民館に伴う数値目標は、職員人件費を年間 1 千万円まで削減する。
 - ③ 市企画経営課が主導している日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画の策定
令和 6 年度から、市企画経営課が主導し日野本町地区の公共施設再編に基づく基本構想・基本計画に着手し、公民館では、市民参加型の座談会を 3 回実施した。
このことから、「市民に寄り添うこと」「市民と職員が確かな信頼関係を築くこと」を重要課題とし、今後も公民館と利用者、公民館運営審議会で、将来的課題も含め、市民から信頼される公民館づくりを進めていく。

7 評価表

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	基本目標（１） 市民の暮らしに寄り添いながら市民のつながりの中に学びを生み出す
施策	1 市民の暮らしに寄り添った学びの循環づくり 2 「学び、学びあい」による生きがいづくり
事業の成果	
<p>○令和６年度、市生涯学習課から事務移管された家庭教育支援事業からヒントを得て、家庭教育学級講演会を開催した。各校 PTA 等を対象にした当該事業の枠を超えて、あらゆる方が参加できる工夫をしたことにより、地域に公民館がない方にも公民館の学びを届けることができた。</p> <p>○ひの市民大学は、各市民委員からの企画提案により様々な学びを届けることができたが、開催時期の方よりが課題である。年間をとおして開催できるよう、出来るならば前年度から企画立案を行う必要がある。</p>	
公民館運営審議会の意見	
<p>【施策全般】 一つひとつの公民館事業に留まらず、団体どうし、サークル間にも学びの循環のひろがりが生みだしてくことが重要である。そのための工夫が以前より増加していると思われる。その中で、参加対象を効果的に絞っている事業もみられたが、他方で対象を設けた事が却って課題になった事業もあった。事業内容自体は公民館として必要性があるものなので、改善点を抽出し、事業目的、対象者をより明確にした上で是非次回に繋げて欲しい。公民館の認知度向上については、LINE での情報発信が有効な手段であるため、今後も継続して発信を強化して欲しい。</p> <p>【事業個別】 ◎「～世界で一つだけの自分の印を彫ろう！～楽しい点刻講座」では参加者が多くサークルへの入会希望につながり興味深い講座であった。 ◎「公民館大掃除」は交流の場としても機能し、他者との交流を通して「誰かの役に立っている」という達成感を分かち合う機会になっている。 ◎「ひの市民大学 大学連携コース」は市近隣の５つの大学と連携し普段できない体験や、大学ならではの魅力的な学びができています。 ◎「公民館まつり」は、公民館でどのようなサークルが活動しているかがわかるので、新しい参加者や学びがひろがっていくことにつながっている。次年度以降の継続のためにも、利用者には実行委員会への参加の促進を図ってほしい。 ◎「聴こえの講演会」は、高齢化社会において、今後も健康や加齢に関する講座があると、高齢者本人だけでなく、家族も安心して暮らしていけると思われる。 ◎「みんなで楽しむコミュニティスクール」は家庭教育学級の枠組みで行なった事は価値があった。しかし、周知や申し込み方法に課題がある。Web 等での申し込みが可能であれば、さらに参加人数が増加したのではないかと。改めて集客意識を持って欲しい。</p>	
事業の課題と改善策	
<p>◎公民館まつり・大掃除など、交流行事等を継続していくが、役員や運営等における世代交代が進まないのが課題である。若い世代が運営に関わる機会創出を模索しているが、職場や学業等との両立が難しいとの意見も聞かれ、課題解決には至れていないのが実情である。</p> <p>◎企画立案に際して、目的や対象者を明確にするとともに、参加形態（対面かオンライン）についても検討を行い、市民の学習ニーズや生活実態の把握に努め、企画に反映できるようにしていく。</p>	

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	基本目標（２） 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ
施策	1 地域をステージに自ら考え、ともに行動する学びを実現する 2 地域や社会的資源を生かし、学びを通して暮らしの課題解決の支援をする 3 暮らしと地域に結びついた安全安心な社会をつくる
事業の成果	
○「スマホお助け隊養成講座」、「スマートフォン使い方講座」としてスマホ事業を全7回開催した。令和3年度から開催している事業であり、かなり定着してきたようにも感じる。しかし、便利なツールである半面、不慣れな方にとっては不安でしかないものと思われる。操作方法の学び以外にも拒絶感を拭うケアも必要である。	
公民館運営審議会の意見	
<p>【施策全般】</p> <p>安心安全な社会の構築に向けて、「防災」や「防犯」に関する講座は、あらゆる世代が参加できるようにしてほしい。その中で、度々の地震や大雨被害に慌てないよう、専門家の方を講師に迎え、学ぶ機会はとても大切である。また、親子で一緒に学べる講座など、いつ、誰の身に降りかかるとも知れない危険に対しての「自己防衛」の知識やスキルは非常に重要である。しかし、天気、ソーラークッキングなど、汎用性の高いテーマの事業は行われたが、「暮らしと地域にむすびついた」という点では課題がある。令和5年度事業評価にもあったが、災害以外の暮らしの安心・安全をテーマにした事業を企画してはどうかと思われる。</p> <p>【事業個別】</p> <p>◎「スマホお助け隊養成講座」は、自身の活動が地域貢献につながることで、社会の一員としての責任感が増し、積極的に社会へ参加しようとする意欲を感じられると思われる。</p> <p>◎「おひさまの力を借りてクッキング～ソーラークッカーを作ってみませんか？」は、クッカー作りや料理を楽しめてよかった。防災時の心得としても役立つので、継続開催を望む。</p> <p>◎「国際理解講座インドネシア編」は日野国際友好クラブとの共催事業であり、インバウンド事業の増加、多文化交流に触れる機会として、より幅広い年齢層の参加を求めてほしい。</p>	
事業の課題と改善策	
当該目標における学びの提供は行われていると考える。しかし、事業数が少ないのは企画立案の際、目標を一つに設定するのに悩んでしまうケースも多く、公運審委員の助言を受け、令和6年度から「関連する目標」を設定したところである。引き続き企画立案に際しては「目標」設定について職員間で意思統一を行い、事業の偏りに注意していく。	

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	基本目標（３） 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す
施策	1 子どもから大人まで切れ目のない学びを創造する 2 平和な暮らしと社会を支える意識を育み、未来につなぐ 3 さまざまな地域資源や学習の機会・場の情報共有を充実させる 4 まちの自然・歴史・文化に親しみ、多世代間で知恵を交流する
事業の成果	
<p>○令和６年度、市生涯学習課から事務移管された家庭教育支援事業は、各校 PTA 等の家庭教育学級部会との協働により開催した。各校 PTA 等を対象にした当該事業の枠を超えて、あらゆる方が参加できる工夫をしたことにより、地域に公民館がない方にも公民館の学びを届けることができた。</p> <p>○人権に関する講座を多数開催できた。人権は公民館の学びの根幹となるものであり、難しい課題ではあるが積極的にチャレンジできた。</p>	
公民館運営審議会の意見	
<p>【施策全般】 人権に関して意義ある事業が企画されているが、参加者数に課題がある。センシティブなテーマであるため、例えばオンライン開催等の匿名性が保たれる参加形態にするなど、さらなる工夫が必要と思われる。ただし、集客数だけでは事業の価値を測ることができないため、事業の目的を明確にしながらか参加者の声を集める必要がある。 なお、デリケートな内容でも継続実施していくことで理解が広がっていくと思われるので、参加＝カミングアウトとならないような配慮は必要である。 また、日本、市の文化を題材にした講座は、様々な世代において興味が沸くような事業であり、参加者同士が触れ合える機会があることも素晴らしい。市の自然や歴史は地域に根付いており、共通の話題にもなるので、ぜひ、学ぶ機会が増えていくことを期待している。ただし、このような事業は、小児世代の同伴が難しい場合があると思われるが、ぜひ工夫を凝らして多世代で交流しながら学べるスタイルを築いてほしいし、保育付き事業とするなどの検討も必要ではないであろうか。</p> <p>【事業個別】 ◎「平和」や「人権」についても、小中学校で学ぶ授業があるので、「家庭教育支援事業」と結びつけてもいいのではないかと提案する。 ◎「バリアフリー講座入門編」は、公民館の障害者少年、青年、成人の各学級事業の活動を周知する機会として、また当事者の障害理解をする上でも企画の継続を望む。 ◎「家庭教育支援事業」は、小中学生だけでなく、保護者も一緒に学べる機会として、あらゆるテーマを取り上げることで、事業が広がりを持つのではないかと。 ◎「家庭教育支援事業 みっちゅ天文部・彗星観望会@三中屋上」は、PTA 等が減少していく昨今に地域の有志による教育支援組織として、公民館との連携は今後も必要だと思われる。 ◎施設の予約システムが新規導入されることに伴い、利用者向け説明会を開きスムーズに移行できるよう周知した点が良い。円滑に利用できる配慮は今後も必要と思われる。</p>	
事業の課題と改善策	
<p>若者（中高生）、世代間の交流が課題である。日ごろ、公民館に足を運ぶことが少ない中高生等へのアプローチの必要性は感じているが、中高生等とのつながりづくりや、次世代のリーダー育成について、まず接点を持つことに多くの時間を要している。現在、多くの小学生が公民館に訪れているが、彼ら彼女らが自然に社会教育（人と人とのつながり）に触れられるよう根気強く関わっていく。</p>	

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	重点事業（１） コロナ禍により断たれた人と人との「つながり」の結び直し
事業の概要	
市民一人ひとりの多様な状況に寄り添いながら、地域に「集い」「学び」「結び」の循環を生み出していくとともに、新たな輪として結び直しをしていく。	
事業の成果	
平成 30 年、新型コロナウイルス感染症の蔓延前には延べ 90,000 人を超える利用者が公民館を使用していたが、コロナ禍を経て平成 30 年度比較で約 75%まで回復してきた。改めて感染症の恐ろしさを実感するとともに、人と人とのつながりは一足飛びには戻せないものであり、膨大な時間と、心のケアが必要であることを認識した。職員は利用者等への声掛けから始まり積極的な交流を心掛け、寄り添い、打ち解け合う努力が見られた。最近では、公民館の Wi-Fi を利用してゲームを行う児童が毎日のように訪れ、公民館談話室はいささかゲームセンターと化している状況である。しかし、こうした児童に対しても声掛けを行い、打ち解けあう努力を進めている。公民館として児童たちを放って置くことはせず、公民館事業へ誘うことを行い、将来的には公民館の良き理解者になり、良き社会人になっていくことを期待しているものである。	
公民館運営審議会の意見	
<p>【施策全般】</p> <p>講座の内容により、オンライン型式に限らず対面型式を望む声も大きく、利用者が参加しやすいよう柔軟に対応していく工夫が必要である。様々な工夫によって、あらゆる世代が参加しやすい講座や、継続参加したいと思える講座などがあると、「つながり」も広がっていくと考えられる。特に、子育て世代が、「子どもと一緒に出かけやすい場所」として、公民館を利用できるようになっていくことを期待している。</p> <p>人はひとりでは生きてはいけないものである。他者から元気や勇気をもって生きていると考えたとき、「つながり」を重視する事業はとても有意義なことであり、公民館の役割は大きい。公民館運営審議会としても少しでも力になればと思う。</p> <p>【事業個別】</p> <p>◎新型コロナウイルス感染症の影響でサークル活動が縮小され、人と人とのつながりが途絶えた時期と比較し対面での事業が復活してきた。公民館まつりや各事業など人々が集い、集いから新たな学びにつながっていくことの重要性を改めて感じる。その上で、事業等に参加することが難しいと思われる人に向け、自宅等でも学ぶことができる方式も柔軟に対応していく必要がある。</p>	
事業の課題と改善策	
<p>学びの循環をとおして「集い」「結び」が生まれる。学びの循環を定着させるには職員の力量も問われるところである。職員は過去の事例に倣い運営方法などを学んでおく必要がある。</p> <p>また、コロナ禍で新しく構築されたオンライン参加方式は便利で参加しやすい方法だが、対面での学びを選択する参加者も多くあった。オンライン・対面どちらの方法にも利点があるので、効果的に使い分ける必要がある。さらに情報発信（周知）についても、これまでの書面案内から、オンラインを併用した案内も行うようになり、公民館を知らない人、未利用者へのアプローチにも力を入れ、そこから新しいつながりづくりを図っていく。</p>	

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	重点事業(2) 地域の団体や組織との連携を通じた公民館の機能の向上
事業の概要	
暮らしやまちにある様々な課題に対し、「学び」を通じて市民が主体的に取り組むことができるよう、公民館は地域基盤を活かした支援体制を整えていく。	
事業の成果	
<p>【施策全般】</p> <p>令和6年度、公民館は市生涯学習課との組織の統合に向け準備を進めた年である。令和3年から生涯学習事業と社会教育事業の将来に渡る方向性と課題について検討を行い、令和7年度より本格稼働とするものである。この統合に伴い、公民館としては特に小中学校へのアプローチが飛躍的に向上すると考えられる。生涯学習の大きな枠の中に、社会教育、家庭教育、学校教育の分類があるが、公民館として社会教育の枠を超えた事業を展開する方策がなかなか見当たらない中、統合によって各分類が非常に近いものとなり、今後の公民館事業の展開に有利に働くものと思われる。</p> <p>また、高幡台分室においては、令和7年度から高幡台分室の受付管理を委託化し、職員を中央公民館に引揚げる準備を行った。これは市の行財政改革の一環であり、また教育センター自体の老朽化により、遠くない将来、使用を停止することが見込まれるため、公民館の機能移転について先行して検討を進めて行かなければならない。</p> <p>当件は施設の移転はもちろんのこと、利用者へ寄り添い方など、今後中央公民館において職員が一丸となって取り組んでいく必要がある。</p>	
公民館運営審議会の意見	
<p>【施策全般】</p> <p>公民館と地域団体・組織の連携が継続して行われていると感じる。また、地域の発展に新たな着想を取り入れる官民協働の視点からも、ここ数年の公民館連携事業の拡がりを感じている。加えて、「コミュニティスクール」事業のように公民館×学校、家庭教育学級支援事業が増えていくことにより、生涯学習行政と連携を図りながら公民館の機能がより向上していくものと思われる。</p> <p>今後の広がりを期待するとともに、次の学びにつながるようなフォローが望まれる。</p> <p>生涯学習事業と公民館が持っている領域や役割を見直しつつ、組織が統合されることで充実するよう、また、地域の団体や組織と有機的につながる基盤となり、より良い取り組みができることを期待している。</p>	
事業の課題と改善策	
<p>市の組織統合や事務移管について市民に理解してもらうよう説明会を実施したが、根本的に理解を得られるまでには至らなかった面も多々あるので、その点については反省するものである。</p> <p>公民館は市民ひとり一人の悩みを共有し、一緒に考え解決していく所である。また公民館（行政側）の方針についても、市民（利用者等）と十分な話し合いの場を持ち、「市民の学び舎」との職員の認識と自覚が必要である。</p> <p>これを機会に公民館と利用者の距離を縮めていくことに努め、利用しやすく、市民から必要とされる公民館であり続けるため、市民の声を大切にリスタートしていく。</p>	

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	重点事業（3） 地域資源の発見・共有による学びあいの充実
事業の概要	
歴史、文化、自然、学術などの資源や地域の魅力を探求することができるよう、日野市を中心とする近隣市との連携により、市民が自らの学びを高められる「学びあい」を展開していく。	
事業の成果	
<p>多摩市と日野市が連携し、令和7年度事業開催に向けて、令和6度中は両市共同で準備を行った。学校に通いづらい子どもを対象とした事業だが、事業に関わる地域、人、当事者とその保護者など、それぞれに対してどのような目的でアプローチするのか、事業終了後も構築したネットワーク、関係性をどのように継続、活用していくのかを検討した。</p> <p>【事業個別】</p> <p>◎「ひの市民大学大学連携事業」は、多摩地域の市民が参加できる市民大学事業の仕組みとして、2市それぞれの市民が参加できる周知を行った。</p>	
公民館運営審議会の意見	
<p>【施策全般】</p> <p>子どもたちを取り巻く環境が多様化している中、誰ひとり取り残されることがないように配慮していただきたい。また、学校へ通いづらい子どもたちの増加が課題となっている昨今、子どもたちの受け止め方が課題となっているのではないかと。子どもたちの学校へ通いづらい気持ちを汲み取り、日野市のみではなく近隣他市の情報や手法も取り入れながら「居場所」や「学びの場」事業が展開されていくことを大いに期待している。</p> <p>誰ひとり取り残さないという考え方はとても大切なことであり、外に出られない・出づらい人にこそ目を向けていく事業は今後も継続していくべきであると思う。</p> <p>ただし、センシティブな問題でもあるため、子どもへのアセスメントシステム構築には十分な配慮が必要であり、尚且つ事業に直接携わる方に事前に研修等を実施し、質の高い事業を目指してもらいたい。</p>	
事業の課題と改善策	
<p>令和7年度事業開催に向けて、日野市・多摩市共同で準備を行った。学校に通いづらい子どもを対象とした事業だが、事業に関わる地域、人、当事者とその保護者などそれぞれに対してどのような目的でアプローチするのかを明確にする必要がある。</p> <p>事務局として業務終了後も構築したネットワーク、他市や他機関との関係性をどのように継続、活用していくのかを念頭におきながら引き続き準備、事業展開を行っていきたい。</p>	

公 民 館 事 業

1 公民館事業 (10・5・4)

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
成人・高齢者事業	・菜園ス コミュニティ (春夏)	4.25～8.22 (全8回)	中央公民館 高幡台分室	佐藤 聡明	76
	・ストーリーテリングってなあに ～おはなしを語ってみよう	5.7～6.4 (全3回)	中央公民館	山田 憲子	22
	・王羲之を知り、書いてみる	6.6～6.20 (全3回)	中央公民館	小熊 廣美	45
	・～心地よくなって健康的～ エコ布ぞうりを作ろう!	6.11、6.18 (全2回)	中央福祉センター	高橋 さゆり	27
	・程久保うたごえパーク	6.15～3.15 (全8回)	中央公民館 高幡台分室	樋口 周子 村田 美果	95
	・～忙しいあなたでも簡単に取り 入れられる～ ハーブの使い方を伝授 講座	7.12 (全1回)	中央公民館	小早川 愛	30
	・ハーブを一緒に育ててみませんか?	9.6～11.1 (全5回)	中央公民館	加藤 貴子	47
	・菜園ス コミュニティ (秋冬)	9.13～12.6 (全7回)	中央公民館 高幡台分室	佐藤 聡明	66
	・国際理解講座 インドネシア編	9.14 (全1回)	中央公民館	ジャヌアル・ ラディヤ	42
	・やさしい自己主張で自己表現	9.28 (全1回)	中央公民館	田浦 秀一	20
	・子供に安心して食べさせられる パン作り～天然酵母と国産小麦 を使って～	10.3～31 (全3回)	中央公民館	白河 育子	44
	・いつ始まっても慌てない、 事前に知ろう!～介護の備えの 『い・ろ・は』	10.12 (全1回)	中央公民館	唐沢 淳子	36
	・～世界で一つだけの自分の印を 彫ろう!～楽しい篆刻講座	10.25～11.8 (全3回)	中央公民館	土方 薫々	30
	・和菓子からひも解く行事の話 ～菊の着せ綿(和菓子)と菊包 み～	10.26 (全1回)	中央公民館	枝川 寿子	24
	・NHK 主催展覧会「田中一村展 奄美の光 魂の絵画」関連文化 講演会	10.30 (全1回)	市民の森ふれあい ホール	中原 淳行	100
	・可愛いつるし雛のタペストリー ～桜、五つ桃、亀～	11.7～11.28 (全4回)	中央公民館	大竹 裕子	74
	・おとなの手作り絵本講座	11.15、12.13 (全2回)	中央公民館	柰代 千栄美 川久保 博章 横川 知佳	20
	・バルーンアートにチャレンジ ～クリスマスを楽しもう～	12.3～12.17 (全3回)	中央公民館	井草 美咲	11

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
成人・高齢者事業	・予約システム説明会	12.11~2.1 (全6回)	中央公民館 中央公民館 高幡台分室	公民館職員	38
	・中央公民館×田んぼの学校 お正月のお飾り わら細工づくり 講座	12.19 (全1回)	中央公民館	尾形 重男 生沼 和彦	11
	・アサーティブコミュニケーション～お互いの理解を深める コミュニケーションを身につけ ましょう～	1.25 (全1回)	中央公民館	田浦 秀一	14
	・～一生、元気で歩くための～ 危険な腰痛の見分け方	1.30 (全1回)	中央公民館	石松 祐幸	29
	・聞こえの講演会 ～初めての補聴器～(継続)	2.13 (全2回)	平山交流センター 中央公民館	平野 幸生	49
	・和菓子からひも解く行事の話 ～桃の節供と引千切り～	3.1 (全1回)	中央公民館	枝川 寿子	20
	・オンリーアート工作	3.22 (全1回)	高幡台団地集会所	なし	25
成人・高齢者 事業(人権)	・LGBTQ+を入り口に考える共生 社会の実現	3.2 (全1回)	中央公民館	鈴木 茂義	6
	・バリアフリー講座入門編～基礎 的な知識や情報・疑似体験を通 して知的・発達障がい者につい て知ろう!～	3.8 (全1回)	中央公民館	高梨 慶 大橋 月葉	5
	・人権の森と史跡めぐり 国立 ハンセン病資料館等見学ツアー	3.15 (全1回)	多磨全生園	稲葉 上道	11
成人・高齢者 事業(委託)	・外国人のための日本語教室 (3コース)	4.10~3.7 (全113回)	中央公民館 福祉支援センター ほか	日野国際友好 クラブ	2,532
	・田んぼの学校	4.1~3.31 (全20回)	新町・南平会場ほ か	田んぼの学校 運営委員会	702
	・公民館平和事業	8.4 (全2回)	多摩平交流 センター	公民館平和事 業実行委員会	151
障害者事業 (委託)	・少年学級定例会、リトミック等	4.6~3.1 (全13回)	中央公民館、 高幡台分室ほか	日野市少年学 級親の会運営	287
	・青年・成人学級 定例会、分科会等	5.19~3.28 (全56回)	中央公民館ほか	障害者青年・ 成人学級仲間 の会運営	803
広域連 携事業	・たま学びテラス(多摩市公民 館との市民大学事業広報の 広域連携)	11.2~12.21 (全4回)	※「ひの市民大学 大学連携コース」 参照	同左	同左
	・ひのたま ULTLA プログラム (多様な学び構築広域連携活動 事業)	4.4~2.16 運営会議等 (全11回)	日野市中央公民館 多摩市関戸公民館	—	—
	・令和6年度 公民館まつり	5.11、5.12 (全2回)	中央公民館 中央福祉センター	公民館まつり 実行委員会と 共催	5,500
	・第25回ひのアートフェスティバル	8.18 (全1回)	仲田の森蚕糸 公園桑ハウス	ひのアート フェスティバル 実行委員会と 共催	3,750

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
	・令和6年度 出張公民「観」 in 高幡台団地	3.23 (全1回)	高幡台団地前 広場・集会室 高幡台分室 日野第三中学校	高幡台分室 サークルほか	1780
ひの 市民 大学	・もうひとつの国際語 ～エスペラントの歴史と現在	5.18～6.8 (全4回)	多摩平交流 センター	木村 護郎 クリストフ 臼井 裕之	52
	・第2回日野ゆかりの新選組と 剣術	10.5 (全1回)	中央福祉センター	佐藤 福子 天然理心流 日野道場	23
	・多摩動物公園の楽しみ方	11.16 (全1回)	中央公民館	土井 優子	9
	・声枯れ予防 健康美ボイス トレーニング エイジングケア	12.6 (全1回)	中央公民館	南賀世 順子	17
	・日野の歴史をもっと知ろう！	12.13、12.20 (全2回)	桑ハウス、 中央公民館	市学芸員	19
	・断捨離の前に「生活の中の アート」基礎：学芸員課程から 学ぶ	1.18 (全1回)	中央公民館	高橋 幸次	10
	・嚙下機能を健康なうちから 鍛えよう。お家でできる喉トレ ーニング	2.7 (全1回)	中央公民館	南賀世 順子	12
	・日野市の学校の給食はなぜ おいしいのか？	3.7 (全1回)	中央公民館	小林 和男 元学校栄養士	10
	・香道体験	3.18 (全1回)	中央公民館	立川 準	18
	・「歎異抄」の教えに学ぶ	3.28 (全1回)	中央公民館	福田 哲	18
	・“好き”は仕事になる？お金に ついて考えるワークショップ	3.29 (全1回)	多摩平交流 センター	PwC Japan 有限 責任監査法人	9
ひの 市民 大学 大学 連携 コース	・帝京大学 地図と歴史資料から読み解く 多摩地域の地形と気候	11.2 (全1回)	平山交流センター	平野 淳平	28
	・東京薬科大学 子どもたちのための薬剤師 セミナー	11.9 (全1回)	東京薬科大学	堀 祐輔 大石 咲子	15
	・実践女子大学 金融リテラシー	12.7 (全1回)	平山交流センター	高橋 桂子	10
	・明星大学 古典芸能の楽しみ	12.14 (全1回)	平山交流センター	田村 良平	11
	・中央大学 古文書から読み解く明治維新と 多摩	12.21 (全1回)	平山交流センター	宮間 純一	25
青 少 年 事 業	・子ども将棋指導対局	4.10～3.27 (全24回)	中央公民館	日野市将棋 サークル	480
	・夏休み子どもカーデザイン教室	7.25 (全1回)	日野自動車内 デザインセンター	日野自動車(株) デザイン部	15
	・ひのアートフェスティバル連携 講座「空き箱で車をつくろう」	7.30 (全1回)	中央公民館	尾崎 恵美	13

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
青少年事業	・夏休み小学生集まれ！！ 「わくわく学習術」	7.31～8.1 (全4回)	① 中央公民館 ② 立川防災館 ③ 第一中学校 (1) 体育館 (2) 校庭	①白河育子 ②田中光ほか ③防災館職員 ④日野自動車(株)親和会	38
	・～おひさまの力を借りてクッキング～ソーラークッカーを作ってみませんか？	8.3 (全1回)	中央公民館	西川 豊子	21
	・公民館まんがクラブ ミリペンをつかってまんがイラストをかこう！	8.6～8.20 (全2回)	中央公民館	大瀧 めぐみ	16
	・～お天気の仕組みを学んでみませんか？～そして、お天気キャスターに挑戦！！	8.10 (全1回)	中央公民館	日本気象予報士会サニーエンジェルズ	29
	・心と身体で音楽を楽しもう リトミック講座	8.31 (全1回)	中央公民館	山崎 詩奈子	8
	・中央公民館×ひの児童館 ワンにゃんウッドクラフト講座	10.19 (全1回)	中央公民館	小林 朝七 ほか	25
	・冬休み書初め講座	12.26、12.27 (全2回)	中央公民館	柴田 雪香	27
	・こどものデジタル創作体験 「くりらぼ in 日野」	1.12 (全1回)	中央公民館	とうきょうこどもクリエイティブラボ	50
	・～コンコンきつつきを作ってみませんか？～ 親子 de 電子工作講座	2.15 (全1回)	中央公民館	角田 洋一	21
	・楽しい子ども書道講座	2.22、3.8 (全2回)	中央福祉センター	窪田 香織	8
	・春休みプログラミング講座 Scratchを楽しもう！	3.22～3.29 (全2回)	中央公民館	角田 洋一	36
青少年事業 (委託)	・第18回 ひのっ子シェフコンテスト	11.24 (全1回)	日野第一中学校	ひのっ子シェフコンテスト 実行委員会	49
シニアICT支援事業	・スマホ個別相談会	4.1～3.31 (全24回)	中央福祉センター ほか	なし	323
	・スマホお助け隊養成講座	6.27～7.24 (全3回)	多摩平交流センターほか	(株)アミュー	14
	・スマートフォン使い方講座	11.28～ 12.10 (全4回)	平山交流センターほか	(株)アミュー	70
	・高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業 スマートフォン相談会	2.21 (全1回)	中央公民館	なし	16

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
アウトリーチ事業	・蚕でつなぐプロジェクト いっしょに蚕のこと 学びませんか	4.27~6.1 (全3回)	中央公民館	柳元 太郎	40
	・蚕でつなぐプロジェクト いっしょに蚕のこと 学びませんか Ver.2 「まゆからの糸取り体験」	9.7~9.21 (全2回)	中央公民館	柳元 太郎 秦 哲子	39
	・第六小学校×中央公民館 「星空教室」	12.23 (全1回)	日野第六小学校	村山 孝一	105
	・ふれあいこどもまつり企画 「ムーラの一人サーカス」	2.22 (全1回)	中央福祉センター	ムーラ	26
づ居 く場 所	・令和6年度 中央公民館大掃除	12.21 (全1回)	中央公民館 屋内/屋外	なし	81

2 公民館利用状況 (10・5・4)

(1) 中央公民館

ア 目的別利用数 (年間)

公民館事業または中央公民館使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1,325	16,373	2,307	15,097	92	895	96	1,205	40	233	3,860	33,803

※ 陶芸窯利用24回 登録団体4サークル

イ 目的別利用数 (月別)

月	公民館事業または中央公民館使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	53	477	249	1,551	10	138	1	3	0	0	313	2,169
5	196	7,267	171	1,060	15	155	4	76	0	0	386	8,558
6	84	663	218	1,380	7	77	5	39	4	23	318	2,182
7	86	733	217	1,434	12	128	10	250	0	0	325	2,545
8	123	979	157	1,026	7	49	4	66	5	62	296	2,182
9	88	677	186	1,301	5	56	10	176	2	8	291	2,218
10	115	1,141	221	1,500	7	53	3	39	2	12	348	2,745
11	143	819	179	1,163	3	25	41	397	0	0	366	2,404
12	118	958	161	1,045	0	0	5	38	26	128	310	2,169
1	107	1,056	176	1,150	12	94	1	1	1	0	297	2,301
2	105	758	175	1,212	7	71	4	38	0	0	291	2,079
3	107	845	197	1,275	7	49	8	82	0	0	319	2,251
計	1,325	16,373	2,307	15,097	92	895	96	1,205	40	233	3,860	33,803

ウ 部屋別利用率（月別）

月	区分	講座室A	講座室B	視聴覚室	調理 実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
4	午前	64.0%	64.0%	64.0%	32.0%	40.0%	88.0%	64.0%	44.0%
	午後	72.0%	72.0%	84.0%	32.0%	36.0%	100.0%	60.0%	20.0%
	夜間	56.0%	52.0%	44.0%	4.0%	28.0%	68.0%	64.0%	0.0%
5	午前	79.2%	75.0%	87.5%	62.5%	66.7%	66.7%	70.8%	50.0%
	午後	87.5%	75.0%	83.3%	45.8%	66.7%	100.0%	87.5%	37.5%
	夜間	75.0%	75.0%	66.7%	33.3%	50.0%	75.0%	75.0%	16.7%
6	午前	65.4%	69.2%	61.5%	42.3%	50.0%	92.3%	69.2%	38.5%
	午後	80.8%	61.5%	88.5%	26.9%	34.6%	80.8%	57.7%	11.5%
	夜間	50.0%	46.2%	42.3%	3.8%	23.1%	61.5%	65.4%	0.0%
7	午前	61.5%	57.7%	61.5%	57.7%	34.6%	88.5%	57.7%	38.5%
	午後	76.9%	61.5%	80.8%	50.0%	42.3%	96.2%	76.9%	19.2%
	夜間	53.8%	53.8%	42.3%	7.7%	15.4%	57.7%	61.5%	3.8%
8	午前	63.0%	59.3%	37.0%	48.1%	33.3%	77.8%	59.3%	18.5%
	午後	66.7%	40.7%	59.3%	48.1%	51.9%	88.9%	66.7%	18.5%
	夜間	33.3%	33.3%	25.9%	14.8%	37.0%	70.4%	33.3%	11.1%
9	午前	62.5%	66.7%	66.7%	50.0%	41.7%	70.8%	62.5%	37.5%
	午後	70.8%	58.3%	62.5%	41.7%	33.3%	87.5%	62.5%	20.8%
	夜間	62.5%	66.7%	45.8%	8.3%	29.2%	54.2%	45.8%	4.2%
10	午前	55.6%	55.6%	66.7%	63.0%	51.9%	77.8%	63.0%	55.6%
	午後	74.1%	55.6%	81.5%	51.9%	33.3%	81.5%	88.9%	18.5%
	夜間	74.1%	70.4%	29.6%	11.1%	18.5%	63.0%	44.4%	3.7%
11	午前	87.5%	83.3%	83.3%	66.7%	70.8%	75.0%	66.7%	54.2%
	午後	87.5%	75.0%	91.7%	50.0%	58.3%	95.8%	75.0%	33.3%
	夜間	58.3%	62.5%	58.3%	12.5%	33.3%	70.8%	70.8%	4.2%
12	午前	66.7%	62.5%	62.5%	75.0%	41.7%	83.3%	58.3%	45.8%
	午後	83.3%	75.0%	75.0%	66.7%	41.7%	95.8%	70.8%	20.8%
	夜間	29.2%	29.2%	50.0%	20.8%	20.8%	62.5%	45.8%	8.3%
1	午前	60.9%	69.6%	82.6%	60.9%	60.9%	78.3%	56.5%	43.5%
	午後	78.3%	65.2%	60.9%	47.8%	39.1%	100.0%	87.0%	26.1%
	夜間	56.5%	52.2%	26.1%	0.0%	21.7%	65.2%	43.5%	8.7%
2	午前	77.3%	77.3%	77.3%	77.3%	54.5%	81.8%	59.1%	50.0%
	午後	81.8%	72.7%	86.4%	54.5%	45.5%	90.9%	81.8%	9.1%
	夜間	40.9%	40.9%	27.3%	0.0%	18.2%	68.2%	40.9%	9.1%

月	区分	講座室A	講座室B	視聴覚室	調理 実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
3	午前	72.0%	72.0%	60.0%	60.0%	48.0%	72.0%	60.0%	40.0%
	午後	88.0%	80.0%	80.0%	56.0%	52.0%	96.0%	84.0%	16.0%
	夜間	40.0%	32.0%	40.0%	8.0%	8.0%	52.0%	56.0%	4.0%
年間計	午前	67.7%	67.3%	67.0%	57.6%	49.2%	79.5%	62.3%	42.8%
	午後	78.8%	65.7%	77.8%	47.5%	44.4%	92.6%	74.7%	20.9%
	夜間	52.5%	51.2%	41.4%	10.4%	25.3%	64.0%	53.9%	6.1%

(使用日数/開館日数=%)

(2) 中央公民館高幡台分室

ア 目的別利用数 (年間)

公民館事業または 中央公民館高幡台 分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
79	692	1,948	12,454	428	3,279	194	1,172	2	12	2,651	17,609

※ 陶芸窯利用 30 回 登録団体 7 サークル

イ 目的別利用数 (月別)

月	公民館事業または 中央公民館高幡台 分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	5	38	167	989	34	239	7	54	1	4	214	1,324
5	6	54	168	1,101	33	258	6	48	1	8	214	1,469
6	2	14	194	1,213	33	271	13	78	0	0	242	1,576
7	10	189	203	1,233	40	296	19	156	0	0	272	1,874
8	2	22	155	893	32	201	27	178	0	0	216	1,294
9	4	41	170	1,055	33	235	19	99	0	0	226	1,430
10	3	38	154	1,024	43	375	29	162	0	0	229	1,599
11	5	67	164	1,106	38	280	27	101	0	0	234	1,554
12	10	97	132	927	37	285	13	91	0	0	192	1,400
1	8	86	150	1,024	36	300	10	68	0	0	204	1,478
2	3	34	149	975	32	257	13	80	0	0	197	1,346
3	21	12	142	914	37	282	11	57	0	0	211	1,265
計	79	692	1,948	12,454	428	3,279	194	1,172	2	12	2,651	17,609

ウ 部屋別利用率 (月別)

月	区分	実習室	和室	講座室 1	講座室 2	講座室 3	講座室 4	講座室 5	講座室 6
4	午前	36.0	68.0	88.0	72.0	60.0	64.0	68.0	0.0
	午後	32.0	36.0	68.0	72.0	40.0	60.0	56.0	0.0
	夜間	0.0	0.0	16.0	4.0	12.0	0.0	4.0	0.0

月	区分	実習室	和室	講座室 1	講座室 2	講座室 3	講座室 4	講座室 5	講座室 6
5	午前	37.5	79.2	87.5	75.0	66.7	62.5	70.8	0.0
	午後	33.3	25.0	91.7	70.8	45.8	66.7	62.5	0.0
	夜間	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
6	午前	36.0	68.0	84.0	80.0	48.0	60.0	72.0	0.0
	午後	32.0	52.0	88.0	84.0	64.0	72.0	88.0	0.0
	夜間	0.0	8.0	8.0	4.0	12.0	0.0	8.0	0.0
7	午前	48.1	63.0	92.6	81.5	70.4	77.8	77.8	0.0
	午後	44.4	37.0	70.4	74.1	74.1	74.1	74.1	0.0
	夜間	7.4	0.0	14.8	3.7	11.1	7.4	3.7	0.0
8	午前	25.9	66.7	66.7	48.1	51.9	70.4	66.7	0.0
	午後	22.2	37.0	77.8	59.3	37.0	77.8	59.3	0.0
	夜間	0.0	0.0	3.7	3.7	11.1	14.8	0.0	0.0
9	午前	33.3	70.8	75.0	75.0	58.3	70.8	87.5	0.0
	午後	29.2	45.8	75.0	70.8	54.2	75.0	83.3	0.0
	夜間	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
10	午前	30.8	76.9	80.8	53.8	57.7	69.2	61.5	0.0
	午後	30.8	42.3	80.8	65.4	42.3	65.4	84.6	0.0
	夜間	0.0	7.7	7.7	0.0	11.5	3.8	7.7	0.0
11	午前	42.3	61.5	73.1	61.5	57.7	61.5	46.2	0.0
	午後	38.5	50.0	73.1	57.7	57.7	73.1	80.8	0.0
	夜間	0.0	23.1	15.4	0.0	11.5	11.5	3.8	0.0
12	午前	50.0	54.2	75.0	58.3	33.3	58.3	58.3	0.0
	午後	41.7	50.0	66.7	58.3	37.5	58.3	62.5	0.0
	夜間	4.2	12.5	8.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
1	午前	41.7	66.7	87.5	70.8	58.3	70.8	20.8	0.0
	午後	37.5	41.7	70.8	66.7	54.2	70.8	50.0	0.0
	夜間	0.0	12.5	4.2	4.2	8.3	8.3	4.2	0.0
2	午前	39.1	73.9	82.6	65.2	39.1	56.5	56.5	0.0
	午後	30.4	26.1	73.9	69.6	56.5	69.6	69.6	0.0
	夜間	0.0	8.7	4.3	4.3	13.0	13.0	4.3	0.0
3	午前	36.0	72.0	84.0	60.0	40.0	60.0	48.0	0.0
	午後	28.0	32.0	88.0	64.0	40.0	60.0	72.0	0.0
	夜間	4.0	8.0	12.0	4.0	16.0	8.0	8.0	0.0
年間計	午前	38.0	68.3	81.3	66.7	53.7	65.3	61.3	0.0
	午後	33.3	39.7	77.0	67.7	50.3	68.7	70.3	0.0
	夜間	1.3	6.7	9.7	2.3	11.0	6.7	4.3	0.0

(使用日数/開館日数=%)

3 公民館運営審議会（10・5・4）
 (1) 公民館運営審議会の会議状況

回	開催日	開催場所	議 事 案 件
1	5.31	中央公民館	<p>ア 議題 (ア) 令和7年度以降の高幡台分室の在り方について (イ) 附属機関の会議（生涯学習関連）の公開（傍聴）について (ウ) 令和6年度日野市中央公民館（令和5年度事業）の運営状況の評価について (エ) 第29期日野市公民館運営審議会委員の解囑について（R6.6.30）</p> <p>イ 報告 (ア) 令和6年度4月人事異動による職員の紹介 (イ) 令和6年度公民館まつりについて (ウ) 日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画について (エ) 令和6年度 公民館講座等事業について (オ) 令和6年度 多様な学びの場構築事業について (カ) 大学連携の成果報告について</p>
2	7.26	中央公民館	<p>ア 日野市公民館運営審議会第30期委嘱式</p> <p>イ 議題 (ア) 令和6年度日野市中央公民館（令和5年度事業）の運営状況の評価について</p> <p>ウ 報告 (ア) 第25回ひのアートフェスティバルの開催について (イ) 令和6年度 「多様な学びの場構築」事業の進捗について (ウ) 高幡台分室の運営・管理の委託化について (エ) 第2次日野市公民館基本構想・基本計画の計画延期について</p>
3	11.8	中央公民館	<p>ア 議題 (ア) 令和7年度日野市中央公民館基本方針、及び重点事業（案）について (イ) 令和7年度日野市中央公民館（令和6年度事業）の運営状況の評価からの評価方法について (ウ) 令和7年度から高幡台分室の受付管理業務の委託化について</p> <p>イ 報告 (ア) 令和6年度日野市中央公民館（令和5年度事業）の運営状況評価について (イ) 第24回ひのアートフェスティバルを開催について (ウ) 令和6年度 多様な学びの場構築事業について (エ) 日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画について</p>
4	2.14	中央公民館	<p>ア 議題 (ア) 令和7年度日野市中央公民館基本方針・重点事業及び「評価方式の変更」について (イ) 日野市教育委員会の組織改正等について報告 (ウ) 令和7年度から高幡台分室の受付管理業務の委託化について</p> <p>イ 報告 (ア) 出張公民「観」in高幡台団地について (イ) 令和7年度公民館まつりについて (ウ) 日野本町地区公共施設再編基本構想・基本計画（素案）の配布について (エ) 学習会「みんなの居場所 公民館のこれからを一緒に考えませんか！」について</p>

4 公民館保育室の利用状況 (10・5・4)

(1) 保育室の利用状況

ア 公民館事業

事業内容	公民館保育付 講座	基本計画意見交 換会	計
利用回数	8	2	10
利用延べ人数	42	2	44

※保育援助は事前申込制で、満1歳6ヶ月から就学前まで

イ 保育援助認定グループ

グループ名	はだかんぼう (調理)	ハモレレ (ウクレレ)	ママパンこねこね (パン作り)	計
利用回数	23	9	9	41
利用延べ人数	73	9	36	118

※保育援助は事前申込制で、満1歳6ヶ月から就学前まで

令和6年度より生涯学習課から移管

5 保育協力員派遣事業 (10・5・4)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
派遣人数	2	2	4	9	10	6	11	7	10	6	11	6	84

6 生涯学習振興事業 (10・5・4)

事業名	アクセス数 (訪問者数)	登録 団体数	講師 登録者数
生涯学習支援システムポータルサイト「Hi know!」	33,669	293	49

7 障害者教育事業 (10・5・4)

事業名	開催期間	会場	対象人数
障害者訪問学級 (委託事業)	R6.4.1~R7.3.31	受講生宅	19

8 家庭教育事業 (10・5・4)

No.	事業名	開催期間 ・開催日	内容	参加延べ 人数
1	家庭教育学級	R6.5.25~R7.2.27	日野第一小学校 ほか8校	908
2	家庭教育学級 講演会・講座	① R7.2.11 ② R7.2.22	① みんなで楽しむコミュニティスクール ② 育児はパーティバトルだ育児カードゲーム"カジークジー"であそぼう!	①34 ② 9 計 43

9 ひの21世紀みらい塾利用状況（10・5・4）

講 座 名	件 数	参加延べ人数
役所の知識を活かしません科	5	75
あなたのお役に立ちましょう科（市職員講師編）	4	40
あなたのお役に立ちましょう科（市民講師編）	8	360

○日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日
制定

(目的)

第1条 この要綱は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第32条に規定する、公民館の運営の状況に関する評価等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市中央公民館(以下「公民館」という。)は、毎年1回、公民館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 公民館は、公民館運営審議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 公民館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 公民館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 公民館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、公民館管理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、公民館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

第30期公民館運営審議会委員名簿

委員長	須崎 奈緒美	社会教育の関係者
副委員長	生島 美和	学識経験者
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	丹間 康仁	学識経験者
委員	斉野 美紀	社会教育の関係者
委員	諸星 智子	社会教育の関係者
委員	木戸場 美和	公募による市民
委員	中野 純平	公募による市民
委員	伊野 直美	家庭教育の向上に資する活動を行う者
委員	小川 真由美	学校教育の関係者

任期 自 令和6年7月 1日
至 令和8年6月30日

令和7年度
日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書
(令和6年度事業)

令和7年9月
日野市中央公民館

〒191-0011
東京都日野市日野本町七丁目5番地の23
電話 042-581-7580 F A X 042-581-2110